

生活衛生とちぎ

編集・発行
 栃木県保健福祉部生活衛生課
 〒320-8501
 宇都宮市埴田1-1-20 TEL.028(623)3110
 公益財団法人 栃木県生活衛生
 営業指導センター
 〒320-0027
 宇都宮市埴田1-3-5 砂川ビル
 TEL.028(625)2660



謹賀新年



(公財)栃木県生活衛生営業指導センター
 理事長 加賀田 敏雄



あけましておめでとうございます。
 皆様方におかれましては、お健やかで輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
 昨年も、当センターの運営及び各般にわたる事業の推進には格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

改めて、各組合の理事長をはじめ、皆様方には多方面にわたり営業の傍ら当センターの事業運営に御尽力をいただき、重ねて御礼を申し上げる次第であります。

さて、昨年国内情勢を振り返りますと、総じてアベノミクスによるデフレ脱却のために大企業から中小企業へと「トリクルダウン」を狙っていたところ、その効果が波及しないまま、年末の厳寒の中で総選挙が行われました。

私どもは、この選挙結果に捉われることなく、最近の「隔世の感」が否めないものの、我々組織の「今後の生活衛生関係営業の方向性を決定づける明るい灯が見える。」ように、更に一層組織を挙げて、この現況を打破するためにあらゆる方面に向かって大いに訴えて参りたいと考えておりますので、引き続き皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

申すまでもなく、我々生活衛生関係営業は地域社会において住民の日常生活に密着して、私達が生活する上で欠くことのできない安全・安心なサービスや食品を提供しており、超少子高齢化や消費者ニーズの多様化など絶えず変化する社会要請に的確に呼応していかなければならないものと考えております。

そう言う意味合いからも、今年も「治に居て乱を忘れず」の精神で、地域福祉や地域活性化のために地域との強固な繋がりを持って、人と人との「絆」を大切にして地域社会に貢献していこうではありませんか。

当センターといたしましても、行政御当局をはじめ、関係機関・団体等の御指導をいただきながら、諸課題に組織が一丸となって取り組むことによって、生活衛生関係営業の発展・向上に努めて参りたいと考えていますので、引き続き一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

終わりに、この1年が皆様方にとりまして杞憂することない歳でありますとともに皆様お一人お一人が御健勝で、商売がますます御繁栄されますよう心から祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

主な内容

年頭のごあいさつ	1	組合だより (食肉組合)	5
年頭のごあいさつ	2	支部だより (芳賀支部、宇都宮支部)	6
厚労大臣、中央会理事長等表彰	3	「生活衛生同業組合活動推進月間」事業	7
組合だより (中華料理業組合)	4	税務署からのお知らせ	8



新年のごあいさつ

栃木県保健福祉部長 名越 究

生活衛生関係事業者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から様々な組合活動を通して、本県の生活衛生行政をはじめ、保健福祉行政の推進に多大なる御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、金融緩和に伴う円安により、特に海外に展開する企業や輸出産業で業績が改善し、株高や就職内定率の上昇など景気に明るさが見えた年でした。

その一方で、地域で営業される生活衛生関係事業者の皆様にとりましては、原材料費や光熱費の上昇、消費税増税などの影響により、引き続き、厳しい経営環境であったと推察いたします。

改めて申すまでもなく、生活衛生関係営業は、日常生活に必要なサービスと食品を提供するという、県民生活の充実のためになくてはならない大切な役割を担っているとともに、「安全・安心」の確保が第一に求められております。

皆様には、自主衛生管理の一層の徹底に努めていただきますとともに、生活文化の創造、環境保全に積極的に取り組まれ、本県経済の活性化をリードする一員として、魅力的な地域社会づくりに貢献されますことを大いに期待するものであります。

県といたしましても、生活衛生関係営業における経営の健全化と衛生水準の向上を促進するため、各種施策を積極的に展開し、更なる振興を図って参りますので、(公財)栃木県生活衛生営業指導センターにおかれましても、加賀田理事長を中心に、県民の生活衛生の確保及び安全・安心な地域社会づくりの推進に、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、生活衛生関係事業者の皆様の益々の御発展と御活躍を心から祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。



新年のごあいさつ

株式会社日本政策金融公庫宇都宮支店長兼国民生活事業統轄 佐藤 真

平成27年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を顧みますと、日本経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減や恒常的な人手不足が顕在化するなど厳しい状況がある一方で、政府による各種政策効果もあって緩やかな回復が期待され、株価上昇など明るい兆しもみられた年でした。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた準備もはじまり、外国人観光客の増加も期待されるのですが、日本の生活衛生関係営業の「安全・安心・清潔」、「美味しさ」、「楽しさ」といった優れた点を国内外に向けて発信し、さらなる飛躍の年となることを願うものであります。

生活衛生関係営業は、国民の日常生活に密接に関係したサービスや商品を提供しており、衛生水準の維持向上や国民生活の質の向上にとって重要な役割を果たしています。

日本再興戦略において地域活性化が大きな柱と位置付けられ、今後、地域活性化への取組みは急速に加速していくことが予想されます。地域密着の生活衛生関係営業、さらに同業者のネットワークを活かして活動を行う生活衛生同業組合においては、地域社会でますます重要な役割が期待されるものと存じます。

今後も、生活衛生関係営業の振興・発展のため(公財)栃木県生活衛生営業指導センターをはじめ県内14の生活衛生同業組合など関係機関の皆さまとの連携を強め、生活衛生事業者の皆さまの身近な金融機関としてお役に立てるよう努力してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして、ご発展とご繁栄の年となることを心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成26年度 生活衛生功労者表彰

厚生労働大臣表彰3名・中央会理事長表彰2名

去る10月28日(火) ホテルニューオータニ(東京)で、平成26年度厚生労働大臣、全国生活衛生同業組合中央会理事長の生活衛生功労者表彰式が開催された。この表彰は、組合の役員として活躍され、組合事業の推進に努め、業界の経営の健全化、衛生水準の維持向上及び組合組織の強化・拡充並びに県内業界の発展に多大な貢献のある方々に表彰状と記念品が贈られた。

【厚生労働大臣 生活衛生功労】



かめ い みのる
亀井 實

栃木県中華料理業生活衛生同業組合副理事長(宇都宮市)



みつ い かつ しげ
三井 勝 茂

栃木県興行生活衛生同業組合副理事長(現理事長)(小山市)



た むら やす ゆき
田村 保 之

栃木県寿司商生活衛生同業組合理事長(宇都宮市)

【厚生労働大臣 生活衛生功労】



ほし だか ひろ
腰高 裕

栃木県理容生活衛生同業組合理事(佐野市)



せき みさお
関 操

栃木県飲食業生活衛生同業組合理事(那須塩原市)

平成26年度 卓越した技能者(現代の名工)表彰

厚生労働大臣表彰 栃木県理容業生活衛生同業組合理事長 山本 賢司 氏

去る11月10日(月) 京王プラザホテル(東京)で、卓越した技能功労者への厚生労働大臣表彰式が開催された。この表彰は、技能尊重の気風を浸透させ、技能者の地位及び技能水準の向上を図る目的で、毎年、我が国最高水準の技能を有し、他の技能者の模範たるにふさわしい卓越した技能者の表彰で、今年度も各方面より推薦のあった中から、厳正なる選考の結果、厚生労働大臣より、表彰状、卓越技能賞(盾と徽章)及び褒賞金が贈られた。



【厚生労働大臣表彰】

やま もと けん じ
山本 賢 司

栃木県理容生活衛生同業組合理事長(宇都宮市)

組合だより

栃木県中華料理業生活衛生同業組合
第47回全国中華料理業栃木大会を開催して

【大会式典会長感謝状贈呈式】

去る11月10日(月)、11日(火)の2日間にわたって、鬼怒川温泉にある「きぬ川ホテル三日月」において、22都道府県の代表者が一堂に会して「第47回全国中華料理業栃木大会」(実行委員長 田代 誠一(栃木県中華料理業生活衛生同業組合理事長))が盛大に開催することができた。

この大会は、昭和42年(1967年)に岐阜県で第1回大会を開催し、47回を数えるが、本県での開催はすでに昭和49年(1974年)、平成10年(1998年)と今年(2014年)の3回目の開催となった。

この時季の鬼怒川温泉の野山は、落葉樹の葉が赤や黄色に一層色づき、山装う季節から山眠る季節を迎えた中で、行政をはじめ関係機関・団体等の御協力の下で、本大会を開催することができたことは感謝の念に耐えない。

初日の10日の午後からは、参加された都道府県組合の代表者による「代表者会議」を開催した後、参加者全員で夕食による交流会を行った。

翌日、11日は大会式典を開催し、厚生労働大臣(代理、健康局生活衛生課課長補佐 堀川春男様)、栃木県知事(代理 栃木県保健福祉部次長 和田 裕二様)、全国生活衛生同業組合中央会理事長(代理 事務局次長 坂崎 登様)、日本政策金融公庫総裁(代理 国民生活事業本部生活衛生融資部長 小出 顕生様)をはじめ、県内選出の国会議員や同秘書及び関係機関・団体等の長など多くの御来賓をお迎えして盛大に開催することができた。

また、大会では厚生労働大臣健康局長表彰など各種表彰や感謝状の贈呈を行い、本大会のテーマである「一致団結 中華の力! 組織の充実を図ろう!」の下で、4項目のスローガンを全員一致で決議された。さらに、交流会では参加者が一堂に会して、相互に快活な意見交換を行い、親睦の輪が一層強固なものとなった。

さらに、12日(水)は、早朝小雨模様であったが、参加者の皆様の中には見学コースとゴルフコンペコースの2コースに分かれ、見学コースでは世界遺産に登録されている日光の東照宮や華嚴の滝などを見学され、昼過ぎに解散したが、参加者の多くから大会のテーマでもある組織の一層強化に努めるとともに、この大会での交流が大変意義あるものであったことや秋の栃木路を堪能することができたなどの感想を聞くことができた。

この大会を担当して、参加者からこのような感想を聞くことができたことは担当県としての開催冥利に尽きるとともに、本県組合の団結力の礎にもなった。

一方、開催期間中は会場のホテル内で中華料理に関する原材料や調味料などを紹介する「近代化展」や地元県産の地酒や食料品を販売する「物産展」のブースにおいても、大勢の参加者で賑わっていた。

(事務局 島崎 光子)

組合だより

栃木県食肉生活衛生同業組合
「とちぎ食肉まつり」を開催して

【オープニングセレモニー】



【とちぎ和牛試食会】

栃木県食肉生活衛生同業組合（理事長 加賀田 敏雄）（以下「組合」という。）は、12月6日（土）、7日（日）の2日間にわたって、宇都宮市の城址公園を舞台として栃木県及び宇都宮市からの行政の支援の下、「とちぎ食肉まつり」実行委員会の構成メンバー（13団体）として「とちぎ食肉まつり」を実施した。

両日は、年末を迎えた寒風吹きすさぶ土・日曜という休日の中であったが、晴天にも恵まれ大勢の参加者（主催者調約1.2万人）で賑わった。

このイベントは、食肉の流通販売拡大を大前提とした安全・安心な食肉の流通や消費のPRに努めることを目的として平成13年度から毎年実施している。

今年度の開催は、総選挙の真只中であったが、現在業界が抱えている最重要課題は畜産経営、食肉流通・販売政策の方向性を示すTPP（環太平洋連携協定）が大詰めを迎え、「言い得て妙」ではなく良い方向性が示されるよう交渉の行方を大いに注目している中での開催となった。

今回は、開催会場を新たに宇都宮市の宇都宮城址公園として、今年度のテーマである「食肉の安全・安心・美味」を参加者に訴えるために、バーベキュー大会、牛肉・豚肉の試食会、安全・安心な食肉情報のパネル展示やリーフレットの配布及びアンケート調査を実施するとともに栃木県産の牛肉・豚肉の販売に加えて、野菜や惣菜などを販売した。

また、今年度は栃木県めん類業生活衛生同業組合が宇都宮で産み出した地産の豚肉や餃子などを使った「宮汁うどん」を販売するとともに、栃木県中華料理業生活衛生同業組合が宇都宮名物の「焼き餃子」を販売することによってこの事業に参画した。

この2日間のイベントを通して、参加者からは「このイベントには、毎年参加しており、参加していつも美味しいお肉やそのお肉の安全性を再認識することができた。」「また、来年度も美味しいお肉を食べにきたい。」と言ったりピーターの声や「初めて参加したが、お肉がこのように生産・流通・販売・消費と川上から川下に流れているのかを良く理解することができた。」などのほか、「どのような肉が美味しく、どのように調理すれば美味しいお肉料理になるのかを知ることができた。」などの多くの意見をいただき、この事業を実施して「事業の有用性、必要性」を再認識することができた。

今後とも、この事業を実施して得られた多くの教訓をあらゆる地域において、イベントや啓発活動に活かし、この事業が沙汰止みにならないよう持続的に実施するとともに、組合員がこの教訓を礎に食肉の流通・販売の営業に大いに活用され、消費者に安全・安心な食肉を提供されることを期待したい。

(組合顧問 井上 徹)

支部だより

栃木県生活衛生同業組合協議会芳賀支部
消費者懇談会を開催して

芳賀支部(支部長 磯野 孝夫)では、11月26日(水)に真岡市青年女性会館で、クリーニング業組合芳賀支部(支部長 苅部 三男)の消費者懇談会(写真)を開催した。

今年度は、栃木県クリーニング業生活衛生同業組合副理事長の長尾清敏氏を講師に迎えて「ご家庭で行う洗濯の基礎知識」と題した講話の後、生衛営業指導センターの小野塚和康氏の進行で意見交換会を行った。消費者として「真岡市消費者友の会」などの団体から31名と多くの方が参加され、消費者からは「非常にためになった」、「今後は組合員のお店を選びたい」等の意見があり大変意義のある懇談会であった。

(県東健康福祉センター内芳賀支部事務局)

支部だより

栃木県生活衛生同業組合協議会宇都宮支部
経営講習会を開催して

宇都宮支部(支部長 亀井 實)では、11月25日(火)に宇都宮市保健所で、当支部の多くの組合員が参加して「経営講習会」(写真)を開催した。

今年度は、(株)あしぎん総合研究所 常務取締役 豊田 晃氏を講師に迎え、「分水嶺に立つ日本経済—栃木県経済の明日を占う—」と題した講演を行った。

今、正に組合員が求めている消費税増税後の日本や県内の経済情勢について、現状と課題、今後の動向及び対策の提案などについて事細かく学ぶことができ、組合員からも大変有意義な講習会であったなどの意見が聞かれたものの、一方終了後のアンケート調査からは内容が難しかったなどの意見もあった。

(宇都宮市保健所内宇都宮支部事務局)

センターからのお知らせ

「生活衛生同業組合活動推進月間」行事を開催して



【県生活衛生課長に理事長から報告】



【宇都宮市保健所生活衛生課長に理事長から報告】

(公財) 栃木県生活衛生営業指導センターは、加賀田敏雄理事長、田中米作副理事長他5名が去る11月17日(月)に栃木県庁、宇都宮市保健所へ生活衛生同業組合活動推進月間中の「栃木県における生活衛生関係営業の実情」報告を行った。

栃木県の主管課である保健福祉部生活衛生課の田辺悦夫課長には、栃木県知事福田富一様及び栃木県会議長螺良昭人様あての実情報告を行った。(写真)

同じくして、宇都宮市保健福祉部保健所生活衛生課の吉成博雄課長には、宇都宮市長あての実情報告をし、我々は行政指導の下、この事業を剛毅果断にして取り組むことを併せて報告した。

本事業は、我々生活衛生関係営業(以下「生衛業」という。)が超少子高齢化に突入した今日、後継者不足や新規参入による過当競争及び組合員離れが一層加速している中で、組合組織の強化及び組合員の資質の向上を目指し、この月間を通して様々な取組を実施するとともに厚生労働省が我々生活衛生同業組合を「衛生水準の確保・向上を目的として連携するソーシャルキャピタルの一種」と位置付けていることから、生衛業における衛生の確保を効果的にして、組合の組織強化及び活性化を一層図ることにより、県民に安全・安心なサービスや食品を提供するために行政への支援をお願いした。

この実業報告の際に対応された栃木県保健福祉部生活衛生課長及び宇都宮市保健福祉部保健所生活衛生課長からもこの実情を快く斟酌され、今までにも増して業界の発展のために指導、支援していただけるとともに、栃木県知事、栃木県会議長、宇都宮市長にこの実情の趣旨を報告して下さるとの回答をいただいた。

(センター事務局)



特別賛助会員名簿
謹賀新年



(平成27年1月1日現在)

株式会社広沢鉄工所
栃木市錦町2-18
【TEL】0282-22-0537

トップツアー株式会社宇都宮支店
宇都宮市馬場通り2-3-6
【TEL】028-636-7761

栃木県遊技業協同組合
宇都宮市二荒町5-19
【TEL】028-634-6655

伴印刷株式会社
宇都宮市栄町6-10
【TEL】028-622-8901

大江戸温泉物語株式会社 ホテル 鬼怒川御苑
日光市藤原1-1
【TEL】0288-77-1070

日東皮革株式会社
草加市吉町3-4-56
【TEL】0489-27-3521

株式会社 板屋「ホテルニューイタヤ」
宇都宮市大通り2丁目4番6号
【TEL】028-635-5515

株式会社ミヤパック
鹿沼市流通センター
【TEL】0289-76-1901

株式会社横倉本店
宇都宮市間屋町3172-6
【TEL】028-656-7777

株式会社 コジマエージェンシー
宇都宮市星が丘2-1-8
【TEL】028-621-4522

株式会社松井ピ・テ・オ印刷
宇都宮市陽東5-9-21
【TEL】028-662-2511

株式会社栃木県畜産公社
宇都宮市川田町220
【TEL】028-656-5991

税務署からのお知らせ

確定申告は自宅で作成できます!

○平成26年分の申告と納税は

所得税及び復興特別所得税 贈与税	消費税及び地方消費税 (個人事業者)
3月16日(月)まで	3月31日(火)まで

○確定申告書は自宅で作成できます

確定申告期間中(2/16~3/16)は、確定申告開場は大変混雑します。

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を利用すれば、ご自宅で確定申告書等が作成できます。

作成した確定申告書等は、印刷して郵送等で提出できるほか、e-Taxを利用して送信し(事前準備は必要です。)提出することもできます。

○e-Taxをご利用いただく前に

e-Taxの利用に際しては、電子証明書の取得(手数料が必要です。)、ICカードリーダーライタの購入などの事前準備が必要です。

○県内各税務署の確定申告開場は、次のとおりです

税務署	会場	所在地	問い合わせ先 (自動音声案内)
宇都宮税務署	マロニエプラザ (開設期間2/13~3/16)	宇都宮市元今泉6-1-37	028(621)2151
足利税務署	足利税務署	足利市伊勢町4-18-2	0284(41)3151
栃木税務署	栃木商工会議所大ホール (開設期間2/16~3/16)	栃木市片柳町2-1-46	0282(22)0885
佐野税務署	佐野税務署	佐野市若松町425	0283(22)4366
鹿沼税務署	鹿沼商工会議所アザレアホール (開設期間2/13~3/16)	鹿沼市睦町287-16	0289(64)2151
真岡税務署	真岡税務署	真岡市荒町5178	0285(82)2115
大田原税務署	大田原税務署	大田原市紫塚1-5-54	0287(22)3115
氏家税務署	氏家税務署	さくら市氏家2431-1	028(682)3311

※宇都宮・栃木・鹿沼の各税務署は、署外の会場で実施しておりますので、開設期間にご注意ください。

復興特別所得税の記載漏れにご注意ください

平成25年分から平成49年分までの各年分については、所得税と併せて復興特別所得税の申告及び納付をすることとされています。

復興特別所得税の額は、各年分の基準所得税額(原則として、その年分の所得税額)に2.1%の税率を掛けて計算した金額です。

消費税及び地方消費税の確定申告をされる方へ

平成26年分の消費税及び地方消費税の確定申告をされる場合は、課税売上げ・課税仕入れの各取引について、事前に適用税率(5%又は8%)ごとに区分してください。

=編集後記=

昨年末の総選挙の結果からも、是非とも今年こそは景気が明るい兆しとなるよう大いに期待し、世の中の平安無事をお祈りしつつ、皆様方及び関係各位が良い年であることを祈願します。
(センター事務局)